

## 「上郷・森の家」の運営方法の見直しについて

### 1 「プール及び野外活動施設等の見直しに係る基本的な考え方」の取り扱い

上郷・森の家については、平成 24 年 8 月にまとめられた「プール及び野外活動施設等の見直しに係る基本的な考え方」において、  
「周辺施設との連携など施設の特徴を生かしながら魅力的なプログラムの開発などの利用促進、経営改善について利用状況を精査しながら、平成 24 年度末までに検討します。」としています。

### 2 これまでの取組

#### (1) 経営改善

人員体制やバーデゾーンの営業時間の見直しなど経営改善を図り、補助金については継続的に削減しています。

#### (2) 施設の魅力づくり・集客対策

横浜自然観察の森、金沢動物園等と連携した集客イベントを実施することにより、施設の魅力づくりに努めています。

また、閑散期の平日割引プランを設定するなど市民の方の利用促進を図っています。

### 3 利用状況

上郷・森の家は、平成 23 年度実績で年間 3 万 4 千人（うち小学校の体験学習として年間 150 校 1 万 6 千人）の宿泊利用者に加え、バーベキュー場などの利用者も合わせ年間約 10 万人の市民の方に利用されており、76.6%の高い部屋稼働率となっています。

### 4 今後の上郷・森の家の基本的な位置付け

上郷・森の家は、

○市内小学校の体験学習等、青少年の健全育成や、地域活動団体・市民活動団体の交流をはじめとした、市民の誰もが利用できる身近な宿泊施設

○隣接する横浜自然観察の森や金沢動物園との相乗効果により、横浜の魅力向上に資する施設

として位置付け、引き続き経営改善を図る中で活用します。

### 5 今後の方向性

①市民の身近な宿泊施設としてのサービス向上

②横浜自然観察の森、金沢動物園と連携した魅力的なプログラムの開発

③閑散期の集客対策をはじめとした経営改善

を図るため、民間ノウハウを活用した運営方法について検討を開始します。

### 6 スケジュール

25 年度 民間活用方法の調査・検討、方針の決定

26 年度 民間活用を導入した運営主体の募集・選定

27 年度 新たな運営主体での営業開始

### 上郷・森の家 地図

